

派遣先所属 福島県次世代産業課  
氏 名 田原 碧 (たはら みどり)  
派遣期間 令和4年4月1日～令和5年3月31日

## 1 派遣業務の内容、現況

### (1) 福島ロボットテストフィールドについて

派遣先の次世代産業課では、ロボット拠点担当として「福島ロボットテストフィールド」の管理、運営を行っております。福島ロボットテストフィールドは、福島イノベーション・コースト構想に基づき整備された陸・海・空のフィールドロボットの一大開発実証拠点です（令和2年3月全面開所）。約50haの敷地内には、①無人航空機エリア、②水中・水上ロボットエリア、③インフラ点検・災害対応エリア、④開発基盤エリアがあります。

福島ロボットテストフィールドは、研究開発施設としての機能を兼ね備えるだけでなく、さまざまなイベントや競技大会も開催されています。昨年度は「ワールド・ロボット・サミット」、今年度は「ロボテス EXPO」や「ロボテス縁日」が開催されるなど、多くの方々に広く興味、関心を持っていただけるようなイベントが企画されています。

### (2) 担当業務について

私の担当業務は、使用料の事後調定、減免、返還事務手続き、施設の整備です。

施設の整備では、ドローンアナライザーの改修業務を担当しています。ドローンアナライザーとは、ドローンを飛行させることなく屋内で飛行試験を行うことのできる装置です。業務上、専門的な知識が必要となる場面がありますが、周りの方々に丁寧に教えていただきながら、業務に取り組むことができます。

その他、ドローン関連の展示会の視察やブース出展をする機会があります。今年の9月には、神戸にて開催された「第1回ドローンサミット」に福島県としてブース出展し、福島ロボットテストフィールドのPRや福島県産ドローンの実機を展示しました。ブース対応を通して、来場者及び参加者との交流や参加企業の最先端の取組を間近に拝見することができ、大変有意義な時間を過ごすことができました。

現在、この業務に従事して、福島県が福島ロボットテストフィールドを核として、ロボットやドローンの研究開発・実証試験において、全国の中でも先進的に取り組みを進められていることを肌で感じます。そのような環境の中に身を置いて、福島県の職員の方々と一緒に業務に携われることを大変貴重な機会であると感じています。少しでも福島の復興の力になれるよう尽力したいです。

### (3) 埼玉県との関わり

現在、埼玉県では、圏央鶴ヶ島IC付近に社会的課題解決に資するロボット開発を支援する「SAITAMA ロボティクスセンター（仮称）」（令和8年度開所予定）の整備が進められています。

施設の整備に向けて、埼玉県の関係各課による福島ロボットテストフィールドへの現地視察が行われたほか、普段は展示会やセミナーの情報を相互に共有しています。11月に行われた福島県主催の「ロボット・航空宇宙フェスタ 2022」では、埼玉県によるブース出展（秩父市共同）が行われました。ブース内では、ドローンの実機展示や「SAITAMA ロボティクスセンター（仮称）」のPRをしていました。福島県と埼玉県の架け橋役となれるよう、業務に一生懸命取り組みたいと思います。



福島ロボットテストフィールド 全体風景



第1回ドローンサミット 福島県ブース



「ロボット・航空宇宙フェスタ 2022」 福島県ブース



## 2 被災地の復旧・復興の状況

商工労働部の派遣職員向けに現地視察研修を企画していただき、福島県職員の方々と一緒に、「福島ロボットテストフィールド」、「東日本大震災・原子力災害伝承館」、「震災遺構浪江町立請戸小学校」を視察しました。伝承館では、館内の映像や展示物をとおして、震災前、当時の状況、震災後、復興に向かって進む様子に至るまで、過去・現在・未来について学びました。請戸小学校は、震災遺構として一般に公開されており、1階、2階、体育館を見学しました。1階部分は、地震や津波の影響により、室内は、ほとんど原型をとどめていませ

んでした。実際に足を踏み入れてみて、いかに地震や津波の影響が大きかったかを感じました。視察を通して、震災の記憶を風化させずに、今後の教訓として未来へ伝えていくことの大切さを改めて感じました。

### 3 被災地へ派遣となって感じたこと

福島県に派遣されて、職場の皆様にも温かく迎え入れられてから、早くも8ヶ月目を迎えました。年度当初は、新しい環境や業務内容に不安も伴いましたが、少しずつ業務内容や職場の雰囲気にも慣れてきて、今では安心した環境の中、日々の業務に取り組むことができます。日頃から職員の皆様に、温かく優しく接していただき、大変感謝しています。

今、こうして福島県にて、復興支援の業務を経験し、職員の方々と交流する機会があり、貴重な経験をさせていただいているなど日々感じています。埼玉県に戻ってからも、福島県との交流や繋がりを大切にすると同時に福島県にて見たことや感じたことを周りの方々に伝えていきたいです。

休日は、福島県内の各地を巡り、福島県の魅力を発見しています。春は、三春町の滝桜、夏は、相馬地方の相馬野馬追、秋は、紅葉の猪苗代湖など、季節ごとの風景や行事を楽しみながら過ごしています。福島県は、自然に溢れているとても素敵なおとこです。こちらでは、語りきれないくらいの多くの魅力がありますので、ぜひ福島を訪れて感じていただきたいです。



三春滝桜（県中：三春町）  
国の天然記念物指定され、100周年を迎えました



水林自然林（県北：福島市）  
連続テレビ小説「エール」のロケ地





磐梯吾妻スカイライン（県北：福島市）  
目の前に絶景が広がっています



花見山（県北：福島市）  
吾妻連峰や福島市街が見渡せます



相馬野馬追（相双：相馬市・南相馬市）  
（国の重要無形民俗文化財）  
甲冑競馬や神旗争奪戦は大迫力です



五色沼湖沼群（会津：北塩原村）  
秋に訪れた「毘沙門沼」の風景  
湖畔を散策することができ、気持ちがいいです



ラッキー公園（相双：浪江町 道の駅なみえ）  
幸せを運ぶポケモン「ラッキー」に会えます  
ラッキー公園は、県内数カ所に設置されています



映画館「朝日座」（相双：南相馬市）  
映画「浜の朝日の嘘つきどもと」に登場

（令和4年11月作成）